

第26回北上市民芸術祭参加

吹奏楽愛好会アンサンブルソノリテ 第18回定期演奏会

平成29年1月29日（日）
開場：午後1時30分 開演：午後2時

北上市文化交流センター
さくらホール大ホール



【主催】北上市芸術文化協会、北上市、北上市教育委員会 【実施主体】北上市民芸術祭運営委員会 【主管】吹奏楽愛好会アンサンブルソノリテ

【後援】岩手日報社、朝日新聞盛岡総局、毎日新聞盛岡支局、読売新聞盛岡支局、河北新報社盛岡総局、産経新聞盛岡支局、岩手日日新聞社、

日刊岩手建設工業新聞社、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、NHK盛岡放送局、エフエム岩手、北上ケーブルテレビ



PROGRAM



指揮：小池 匠

【第1部】 ～シンフォニックステージ～

エアーズ（田嶋勉作曲）

2004年度全日本吹奏楽コンクール課題曲。エアーズの“エア”は歌という意味で、曲全体を通して歌を歌っているということから「エアーズ」というタイトルが付けられています。

静かな曲の出だしからやがて重厚なTuttiへと発展していく曲の流れは、演奏会のオープニングにふさわしい荘厳な雰囲気のある1曲です。

プスタ～4つのジプシー舞曲～（ヤン・ヴァンデルロースト作曲）

全4楽章からなる組曲。タイトルの「プスタ」とはハンガリーを中心に存在する広大な平原の名称で、ヨーロッパを中心に放浪生活を送る民族であるジプシーの舞曲をテーマとするこの作品のイメージにふさわしい雰囲気をもつ名称として名付けられました。

多くの国の住民が流入してくるベルギーにおいて、ジプシーの音楽は非常に身近な存在であり、それらの音楽にインスピレーションを得て作曲されています。チャールダーシュに代表されるジプシーの音楽は非常に変化に富んだものであり、この曲においても急激な速度や強さの変化などが特徴的です。

歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲（P.マスカーニ作曲/建部知弘編曲）

曲名の「カヴァレリア・ルスティカーナ」は、「田舎の騎士道」という意味で、元々はイタリアの小説家ジョヴァンニ・ヴェルガによる小説、戯曲ですが、今日ではピエトロ・マスカーニが同戯曲に基づいて作曲したオペラが有名です。

本日演奏する間奏曲は、オペラを離れて演奏会で単独で取り上げられることも多い名曲で、静かで荘厳な旋律、ユニゾンの重厚な響きは聴く者の心を惹きつけます。

喜歌劇「メリー・ウイドウ」ファンタジア（F.レハール作曲/淀彰編曲）

フランツ・レハールが作曲した3幕からなるオペレッタの傑作です。

原題のドイツ語「ルスティゲ・ヴィトヴェ」は日本語に訳すと「陽気な未亡人」という意味で、パリを舞台に、財政破綻寸前のバルカンにある架空の国「ポンテヴェドロ侯国」の大富豪の莫大な遺産を相続した未亡人ハンナをめぐる繰り広げられる恋の物語です。

現在世界各地で上演されているフォルクスオーパー版のオペレッタは3幕構成で、上演時間は休憩時間を含めて2時間30分の作品ですが、本日演奏するファンタジアは、淀彰氏が序奏、ヴィリアの歌、舞曲とワルツ、終曲をセレクトして編曲した約11分の作品です。



ごあいさつ

会長 小松 功

本日は、吹奏楽愛好会アンサンブルソノリテ第18回定期演奏会へご来場いただき、誠にありがとうございます。

年間行事最大のイベントであるこの定期演奏会に向け、メンバー一丸となって練習に励んでまいりました。私たちの作り上げてきたソノリテの音楽が伝えられるよう、精いっぱい演奏いたしますので、最後までごゆっくりとお聴きください。第2部では、ところどころに楽しい演出がちりばめておりますので、どうぞお楽しみください。

最後に、今後とも吹奏楽愛好会アンサンブルソノリテを宜しく願います。



PROGRAM



【第2部】 ～岩井&真島編曲作品をソロの響きとともに～

吹奏楽の作編曲家として日本の吹奏楽普及に大きな功績を遺した“吹奏楽ポップスの父”岩井直溥氏(1923-2014)と真島俊夫氏(1949-2016)の2人。

吹奏楽ポップスの草分け的シリーズとして1972年に第1集が発行された「ニュー・サウンズ・イン・プラス」シリーズでは数多くの編曲を手掛け、シリーズスタートから数十年経過した今でも多くの作品が演奏されています。

本日の第2部は、岩井氏と真島氏の編曲作品の中から、ソロフィーチャーされた作品を中心にお届けします。

サンチェスの子供たち (C.マンジョーネ作曲/岩井直溥編曲)

ニュー・サウンズ・イン・プラス第11集(1983年)に収録。

作曲のチャック・マンジョーネは、アメリカ合衆国のジャズ・フュージョンで活躍しているトランペット、フリーゲルホルン奏者です。ラテン・テイストを多く取り入れたメロディアスで心地よいナンバー次々と発表して全米で大ヒットとなりました。1976年にアルバムBellaviaでグラミー賞を受賞、1978年にはアルバム「サンチェスの子供たち」で2度目のグラミー賞を受賞しています。

キャリオカ2 ～ソロ・チューバとバンドのための～ (V.ユーマンス作曲/岩井直溥編曲)

吹奏楽版の「キャリオカ」は、ニュー・サウンズ・イン・プラス第24集(1996年)に収録。

1933年につくられたアメリカ映画「空中レビュー時代」の主題歌として発表されました。「キャリオカ」とは、リオ・デ・ジャネイロに生まれ育った人々をさします。この曲は、南米の雰囲気を感じ取ることの出来る作品として、吹奏楽やオーケストラなどの編成にアレンジされ親しまれています。

本日は、チューバソロをフィーチャーしたアレンジでお送りします。

カーペンターズ・フォーエバー (真島俊夫編曲)

ニュー・サウンズ・イン・プラス第18集(1990年)に収録。

1970年代に活躍したアメリカの兄妹ポップス・デュオ「カーペンターズ」の数多くの作品の中から、「シング」「愛のプレリュード」「トップ・オブ・ザ・ワールド」「遙かなる影」「スーパースター」「ふたりの誓い」を収録した作品です。カーペンターズが作品を発表してから40年以上経過した今でも色褪せない魅力的な旋律が、真島氏の編曲により次々と奏でられています。

君の瞳に恋してる ～フルートとバンドのための～ (B.クルー作曲/真島俊夫編曲)

ニュー・サウンズ・イン・プラス第30集(2002年)に収録。

1967年5月に、アメリカ合衆国のシンガー「フランキー・ヴァリ」がソロシングルとしてヒットさせ、1982年にはボーイズタウンギャングがディスコ調にアレンジし、日本やイギリスなどで大ヒットしました。他にも多くのアーティストがカバーしており、どこかで聞いたことのある1曲です。

本日は、フルートソロをフィーチャーしたアレンジでお送りします。

宝島 (和泉宏隆作曲/真島俊夫編曲)

ニュー・サウンズ・イン・プラス第15集(1987年)に収録。

T-SQUARE (当時はTHE SQUARE) の代表作である「宝島」を真島氏が編曲したもので、軽快なサンバのリズムが特徴の1曲です。

ニュー・サウンズ・イン・プラスに登場してから30年が経過した今なお、吹奏楽のコンサートには欠かせない曲となっているのは、真島氏の残した大きな功績のひとつと言えるでしょう。



MEMBERS



Ensemble Sonorite

ソノリテには「響き」、アンサンブルには「仲間」という意味があります。

私たちは「ひとりひとりが輝き、笑顔あふれる音楽を」をモットーに、管楽器の美しい響きにより、奏者のみならず聴衆とも感動を共有する「仲間」になれるような音楽作りを志して活動しています。

【Piccolo & Flute】

砂子田 茉莉
小池 幸江
佐々木 まどか
多田 希美
平野 茜

【B♭ Clarinet】

小松 功
小松 友紀子
佐々木 美佳子
真藤 沙妃
高橋 優衣
千葉 玖美

【Bass Clarinet】

瀬川 淳

【A. Saxophone】

高橋 貴晴
八重樫 美奈子

【T. Saxophone】

畠山 彩織

【B. Saxophone】

佐藤 祥佳

【Trumpet】

小澤 恵
高橋 裕亮
富澤 康司
長谷川 ゆう
松田 聖未
吉田 るり

【Horn】

神山 真知子
佐藤 正枝
高橋 佑香
畑中 湊

【Trombone】

菊池 和彦
近 あゆみ
多田 ゆかり(♫)
藤原 勇紀

【Euphonium】

佐々木 琢磨
三上 育美

【Tuba】

高角 博貴
八重樫 良至

【Percussion】

浅水 百加
小原 好絵
小野 裕子
斎藤 佳奈
佐々木 壮太
白鳥 伊津香

【Conductor】

小池 匠

(♫)・・・客員

※休会中の会員を除く

私たちと一緒に笑顔の花を咲かせましょう！
全パートメンバー募集中！！

- 練習日 毎週日曜日18:30～21:30
高校生(要親権者同意)以上の経験者。
原則楽器持参。(打楽器は当会で用意)
- 会費 1ヶ月2,000円
(大学、専門生1,000円/高校生免除)
- 場所 さくらホールほか

※当会HPの会員募集メールフォーム
からお問い合わせください。
<http://ensemblesonorite.jimdo.com/>



次回演奏会は・・・

グリーンコンサート2017 平成29年5月28日(日) 午後2時開演 (入場無料)

皆様の御来場を、会員一同お待ちしております♪

